2 「土をつくり、畑をたがやす」
—— 守ろう！実り豊かな農村空間

農業を営む上では、田畑だけでなく、農道や畦、ため池や水路をきちんと管理することはとても重要です。

そこで大津市では、比叡山・比良山系から琵琶湖に至る、古くから受け継がれてきた美しい田園風景を守る取り組みを行います。

また近年、市内ではシカやイノシシなどによる、田畑や農作物の被害が目立っています。こうした被害を少なくする取り組みも積極的に行います。

基本施策

❶. 農業施設を適切に管理し、計画的に更新します
❷. 田畑の分散を避け、遊休農地の発生を防ぎます
❸. 美しい水田環境を守ります
❹. 環境保全型農業を進め、きれいな水を守ります
❺. シカやイノシシなどの被害に対する取り組みを進めます

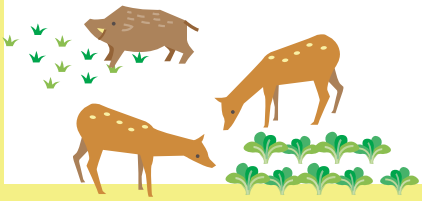
大津市のチャレンジ！

●各地域における「人・農地プラン」の作成に関する話し合いを支援し、人と農地の問題を解決するための道筋を立てます！

【人・農地プランの作成件数】

現　状	目　標		
2016年 11月末現在	2021年（1期）	2025年（2期）	2029年（3期）
9件	13件	17件	21件

市民のみなさんも参加しよう！



●美しい水田風景を守るため、地域の清掃活動などに参加しよう！
●市内におけるシカやイノシシなどの被害の現状や狩猟について調べよう！

■具体的取り組み（これらの取り組みは関係機関と協議の上、優先順位をつけて取り組みます。）

基本施策	具体的取り組み	備考
1. 農業施設を適切に管理し、計画的に更新します	① 地域の生産者や住民を対象とした定期的な会合を行い、地域にある農業施設の現状を把握します。	
	② 早急に更新が必要な農業施設について優先的に更新計画をまとめ、更新を進めます。	
	③ 地域の生産者や住民の協働による農業施設の管理体制を積極的につくります。	
2. 田畑の分散を避け、遊休農地の発生を防ぎます	① 地域内で話し合いを進め「人材ノート」を作り、地域における将来の担い手をイメージしてもらいます。	再掲
	② 市内の生産者ならびにその地域を対象に、「人・農地プラン」の作成に向けた話し合いを進めます。	再掲
	③ 滋賀県農林漁業担い手育成基金と連携し、農地所有者に対して、農地中間管理事業の周知を行います。	
	④ 滋賀県農林漁業担い手育成基金と連携し、新規就農者に対して、市内農地の紹介をします。	再掲
3. 美しい水田環境を守ります	① 「大津市農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画」についての説明会を開催し、生産者の理解を深めます。	
	② 農業を続ける上で条件が不利な地域においては、農業生産の維持につとめ、荒廃農地の発生を防ぎます。	
	③ 農業生産を促進することで、水源の涵養や棚田などの景観保全に取り組みます。	
	④ 地域一体となって、田畑や施設を管理し、また環境負荷を軽減する生産方法の普及を通じて、生物多様性の保全に取り組みます。	
	⑤ 「大津市水田フル活用ビジョン」についての勉強会を開催し、生産者の理解を深めます。	
	⑥ 「大津市水田フル活用ビジョン」に基づいて、飼料用米や米粉用米、麦・大豆などの生産を伸ばします。	
4. 環境保全型農業を進め、きれいな水を守ります	① 環境保全型農業について説明会を開催し、市内生産者の理解を深めます。	
	② 市内で環境保全型農業に取り組む生産者の活動や農産物についてウェブサイトなどで積極的に情報発信します。	
5. シカやイノシシなどの被害に対する取り組みを進めます	① 有害鳥獣被害防止対策の周知・啓発を行い、生産者の理解を深めます。	
	② 地域一体となって、市内に整備された侵入防止柵の維持管理を行います。	
	③ 猟友会との連携を通じて、新規就農者を中心に狩猟免許の取得をうながし、ハンターを育成します。	
	④ シカやイノシシが田畑に近づきにくい集落にするために、環境整備を進めます。	

コラム 大津の環境こだわり米「はなふじ」

「はなふじ」とは、品種がコシヒカリで、藤の花に似た花を持つマメ科植物「ヘアリーベッチ」と稲を、同じ田んぼで育ててつくるお米です。

このヘアリーベッチは稲の成長に必要となる窒素を大気中から土に取り込みます。また田植え前にヘアリーベッチを土にすきこむことで栄養たっぷりの田んぼがつくられ、その結果、化学肥料を新たに加える必要がありません。はなふじは通常の環境こだわり米と比べてCO_2排出量が28%少なく、カーボンフットプリント（炭素の足跡）認証も取得している、全国的にも珍しいお米です。さらにヘアリーベッチは雑草の発生も抑える機能も果たし、農薬の使用を減らすこともできます。

滋賀県の認証も受けた、この環境こだわり米「はなふじ」は、大津市外からも注目を集める新しい環境に配慮した農産物です。